

# 連携

## 第87号

### 病院の理念

わたしたちは、患者さまを第一に考え、いのちを大切にす最善の医療を行い、地域に貢献します

### 基本方針

わたしたちは、患者さまのことを考え、いのちを大切にします

1. 市民から信頼される、安全な医療を行います
2. 良質な医療を行うために、つねに新しい知識と技術を身につけるように努めます
3. 地域のニーズに合った医療を提供することで、地域に貢献できる病院をめざします
4. 地域の医療の中心として、ほかの医療機関との連携に努めます



## 循環器内科紹介

循環器内科部長 矢作 浩一

栗原中央病院循環器内科は、2023年4月で開設して7年目を迎えました。

開設当初より、専門医3名（始めは2名）とコメディカル（臨床工学技士、放射線技師、カテ室看護師）にて、24時間体制で「急性心筋梗塞」を始め循環器救急

疾患患者を受け、救命に必要であれば、夜間でもカテーテル治療を行っております。

そして、心肺蘇生に成功した患者様のICUでの脳低温療法や、ショックバイタルのカテーテル治療における補助装置であるECMOやIABPを使用して、患者様の救命や社会復帰を目標に治療しております。

カテーテル治療においては、①冠動脈疾患に対するPCI（経皮的冠動脈インターベンション）、②心房細動を始めとした頻脈性不整脈に対するアブレーション、③腎動脈や下肢動脈を中心とした末梢血管疾患治療（EVT）、④徐脈に対するペースメーカ治療（PMI）を施行しております。そして当科のカテーテル治療に関しては、専門医が常駐しており、研修・研修関連施設認定を受けております。

また「心不全」パンデミックと呼ばれる時代の中で、心不全再発予防のため、当科は、①ガイドラインにのっとった薬物治療を基本にして、②心臓リハビリ指導士（医師1名、理学療法士2名）が常駐し、入院・外来を問わず、CPX（心肺運動負荷試験）を基に、心臓リハビリテーションを施行しており、必要であれば、③睡眠時無呼吸症候群の精査（外

来での簡易型ポリソムノグラフィー検査、1泊2日入院のポリソムノグラフィー検査）を施行し、CPAP/ASV療法の導入をしております。



X線血管撮影装置  
Allura Xper FD20/10



心肺運動負荷試験  
Cardio Pulmonary Exercise test:CPX



最後に、ペースメーカーなどの手術を受けた患者様のMRI撮影に関して、最近手術を受けた方であれば、当院でMRI撮影が可能となっております。これは国の決められた条件に合致した病院でしか撮影できませんので注意して頂ければと考えております。

このように当科の方針として、一貫した循環器疾患治療をし、患者様の予後改善に尽くしていきたいと考えております。是非、そのような治療を希望する患者様がいらっしゃれば、紹介を頂ければ幸いです。



【循環器内科医師紹介】

- 病院事業管理者 平本 哲也
- 循環器内科部長 矢作 浩一
- 循環器内科医長 高田 剛史
- 循環器内科医長 深澤 恭之朗
- 循環器内科医員 安川 遥



# 部署紹介

## 【 リハビリテーション科 】

皆さんこんにちは！

栗原中央病院のリハビリテーション科です。

当院では運動器疾患や脳血管疾患、呼吸器疾患、循環器疾患などの多様な疾患に対し、急性期および回復期のリハビリテーション医療を提供しています。スタッフは理学療法士14名、作業療法士6名、言語聴覚士3名の総勢23名となっています。



### ☆理学療法部門☆



理学療法部門では、入院・外来の患者様に対して基本的動作の獲得を目標に、姿勢・動作・歩行練習や機能改善に向けた練習（関節可動域運動・筋力増強運動など）、呼吸指導などを行います。また、早期にリハビリを行うことにより体力や筋力、運動能力の



低下を最小限にし、早い時期の社会復帰を目指します。当部門の特色として地域のニーズに即した心臓リハビリ、スポーツリハビリにも力を入れて取り組んでいます。

## ☆作業療法部門☆



作業療法における「作業」とは、人が生活を営むために必要な活動の全てをさします。食べる、着替える、トイレに行く、お風呂に入るといった基本的な動作（作業）から、物を作る「作業」、家事や仕事といった「作業」だけではなく、子に対する親としての役割、地域での近所付き合いや友人関係としての役割なども「作業」のひとつです。

作業療法士が、病気や怪我により今までできていた「作業」が困難になった方々に対し、「作業」の再獲得をお手伝い致します。

患者様本人に対する治療だけではなく、福祉用具や人的サービスの利用などで患者さんの周囲の環境を調整することも作業療法です。



## ☆言語聴覚部門☆

言語聴覚部門では、病気や怪我、加齢等などにより「言語機能」「認知機能」「高次脳機能」「摂食・嚥下機能」が低下した方の検査と機能回復を支援しています。

- ・舌や唇が動きづらくなり、うまく話すことができない構音障害のある方。
- ・言葉の理解や表出に障害がある失語症のある方。
- ・言葉、思考、行動、学習、注意などに障害が起きた高次脳機能障害のある方。
- ・舌の動きや咀嚼能力、飲み込みの機能に障害がある方。



患者様の症状に合わせた評価と、機能・能力改善に向けた練習を通して支援します。



栗原中央病院リハビリテーション科は、地域のニーズに合わせたリハビリテーション医療が提供できるよう、関連機関の皆様との連携等に取り組んでまいります。ご協力を何卒よろしくお願い致します。

### お知らせ

- 以下の診療科は予約診療となりますので、事前にお問い合わせください。
  - ・消化器疾患 ・糖尿病疾患 ・脳神経内科 ・心療内科
  - ・血管外科 ・甲状腺外科 ・乳腺外科 ・皮膚科
  - ・整形外科 ・肩外来 ・スポーツ外来 ・眼科
- 発熱患者様ならびに当日受診依頼患者様は、「発熱問診票」もご記入の上、FAXください。



### お願い

外来診療予約の際は必ず、当院専用の「紹介患者受診依頼票」に必要事項をご記入の上、診療情報提供書と共にお申込みください。

## 連携のつどい“よらいん”報告

令和5年6月21日(水)、『よらいん再始動！！コロナ感染症5類に…施設の生活、どうかわる！？』と題し、今年度最初の連携のつどい“よらいん”を集合形式で開催しました。



新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行後の、当院の現状と対策や今後の課題について感染管理認定看護師の上野賀子看護師に講話を頂きました。

講話では、「5類になったことで対応が様々になった。それぞれの施設で感染対策をどのように行うのか正解はない。施設内での対応、陽性者等への対応、職員の対応、

患者の急変やアウトブレイクに対する対応など、それぞれの施設が根拠をもって何をするか決め、みんなで守ることが大切である」とお話ありました。

講話後の意見交換の場では、面会方法や陽性者発生時の対応など他施設と情報交換を行うことができ、参加者からはとても勉強になり、参加して良かったとの声が多く聞かれました。



患者さまが入院中に関わらず、自宅や施設でも安心して生活できるよう、今後も知りたいこと聞きたいことを情報提供できるように、顔の見える関係となる“よらいん”を企画していきたいと思えます。



## がんサロン“サロン de よらいん”報告

がんサロン「サロン de よらいん」は、がん療養中の方やご家族、がん体験者が集まり、お互いの体験や気持ちを語り合い支えあう場所です。

令和5年7月11日(火)のがんサロンは、小さなタイルを使って手作りフォトスタンドの制作を行いました。今回はじめて参加した方を含め8名の参加がありました。水色を多く使い夏らしい作品や大きいタイルと小さいタイルを組み合わせたアートの作品など、それぞれデザインや色あいを考えながら思い思いに制作していました。また恒例となっている木田副院長の講話は「七夕」にまつわる神話をお話いただきました。



厳しい暑さの中での開催でしたが、「みんなの顔を見ると元気が出る」とお話しされる参加者の方がたくさんいて、暖かい気持ちになりました。がんサロンの役割を再確認し、今後も心温まる場を提供していきたいと思えます。



### 【編集後記】

猛暑が続く中、皆様いかがお過ごしでしょうか。  
熱中症対策⇒エアコンを使用し、水分補給をしっかりとしましょう。と謳われ実行しておりますが…今月の電気料金の請求が恐ろしいと感じる今日この頃です。  
頑張っ乗り越えましょう！！

### 栗原市立栗原中央病院

〒987-2205

宮城県栗原市築館宮野中央三丁目1番地1

(代表) TEL : 0228-21-5330 FAX : 0228-21-5350

地域医療連携室

(直通) TEL : 0228-21-5335 FAX : 0228-21-5336

<https://www.kurihara-central-hp.jp/>